

## 主な消毒薬の種類とその性質

系統及び成分名	使用濃度	主な用途	細菌	かび	ウイルス	特徴
アルコール類	原液 70% 原液	手指、 ドアノブ、 トイレ便座	○	×	△	殺菌作用が迅速で浸透力が強い ため確実な効果が得られる 人体に対する毒性や皮膚への 刺激性が少なく安全性が高い 傷のある手指や手荒れのひどい 手指には使用しない
消毒用エタノール 消毒剤配合アルコール製剤						
塩素系	0.01～0.1% (100～1,000ppm)	ほ乳瓶、 食器、まな板 布巾、リネン類	○	○	○	殺菌力の他に強力な漂白力や 脱色作用がある 有機物があると効果が低下す るので、洗浄後一定時間浸漬す る温度や光線により日数が経過 すると薬剤濃度が低下する 酸性洗剤などと併用や混合する と塩素ガスが発生し危険
次亜塩素酸ナトリウム						
第四級アンモニウム塩	0.1～0.5% (1,000～5,000ppm)	手指、 器具や床など	○	△	×	有機物や金属イオンによって 効果が低下する 普通の使用方法であれば人体 に対して副作用を起こさないが 誤飲されやすいので注意 手が荒れにくいため手洗い消毒 用に使用される 陰イオン(石けん、硫酸イオン など)と反応すると効果が低下す る
(逆性石けんなど) 塩化ベンザルコニウム 塩化ベンゼトニウム						
ビグアナイド系	0.1～0.5% 又は原液(4%)	手指	○	×	×	有機物に吸着されやすいが毒性 が低く皮膚に対して刺激がない ため手指消毒剤として広く使 用されている 陰イオン(石けん、硫酸イオン など)と反応して沈殿する
グルコン酸クロルヘキシジ ン						
両性界面活性剤	0.1～0.5%	器具や床など	○	○	×	第四級アンモニウム塩と比較 すると殺菌力は弱い 有機物や金属イオンなどが存 在しても効果がある 粘膜への刺激が少ない 殺菌力は中性付近で最も大き く、酸性やアルカリ性強くな るにつれて低下する
塩酸アルキルジアミノエチ ルグリシン 塩酸アルキルポリアミノエ チルグリシン						
酸化剤	原液(3%)		○	×	×	漂白や脱色作用、脱臭作用が ある 毒性が低く広い範囲の微生物 に対する効果がある 殺菌力は比較的弱く、持続力 が少ない マウスを用いた大量投与試験 で発ガン性が認められている 洗濯物の漂白や食器の漂白に 使用されている 過ホウ酸は60℃、過炭酸は40 ℃位の温水が効果あり
過酸化水素 過炭酸ナトリウム 過ホウ酸ナトリウム						